

2011年3月期第2四半期 決算説明会 および当社の事業環境と今後の対応



新本館 2010年9月竣工

2010年12月13日

日本輸送機株式会社

I 事業内容および決算概要

専務取締役 二ノ宮 秀明

事業内容

国内初のバッテリー式フォークリフトを開発したニチユは、業界に先駆けて環境に配慮した保管・搬送技術の開発に着手。CO₂の排出を抑制し、省エネルギーを実現する保管・搬送機器をご提供することによって、お客さまの環境改善のみならず経営改善に貢献してまいります。

国内フォークリフト事業

- ・バッテリーフォークリフト
- ・エンジンフォークリフト

海外事業

- ・バッテリーフォークリフト
- ・コンポーネント製品 他

物流システム事業

- ・中高層ラック用フォークリフトシステム
- ・無人搬送システム
- ・自動倉庫
- ・電動式移動密集棚システム
- ・自走台車
- ・バッテリー機関車
- ・モルール 他

その他事業

- ・床面清掃機
- ・床面洗浄機
- ・巻取装置 他

セグメント別売上高(2010年9月末)

	売上高(百万円)	比率(%)
国内フォークリフト事業	25,577	73.4
海外事業	3,643	10.5
物流システム事業	4,333	12.4
その他事業	1,281	3.7

※2011年3月期よりセグメントを変更しております。

(設立)	1937年
(工場)	京都工場(年産12,000台)・滋賀工場 上海工場(年産3,000台)
(販売拠点)	国内 300ヶ所に販売・サービス拠点を設置 海外 シンガポール、マレーシア、タイ、インド、天津、上海、 深圳、香港、オーストラリア、東南アジア、中近東、 ロシア他に販売会社・販売代理店

1

前年同期比増収

2

営業利益が大幅に好転

3

2011年3月期は当期純利益が黒字化する見通し

1. 連結損益計算書の概要

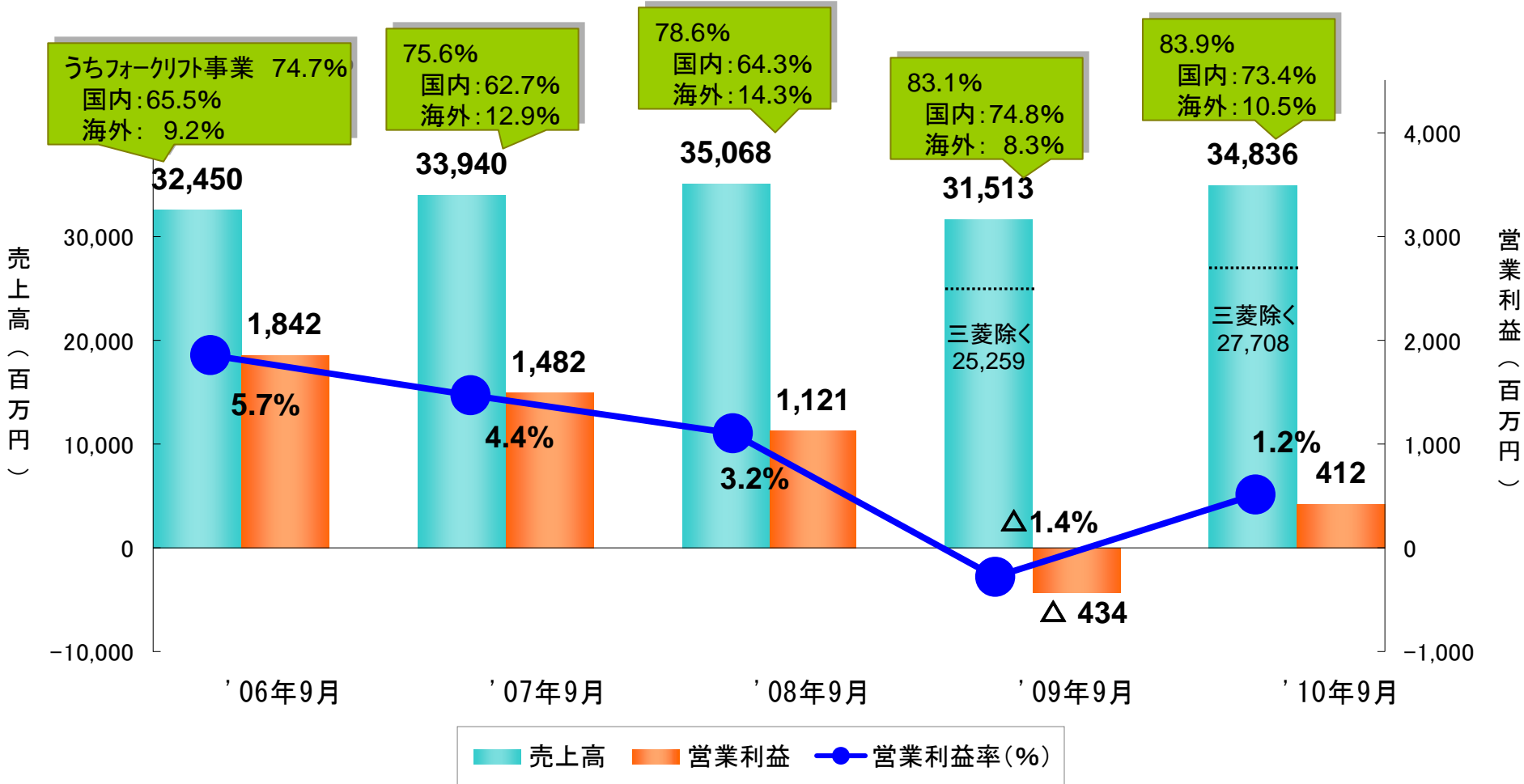
前年同期比で大幅な増益

単位:百万円

	2009年9月期	2010年9月期	前年同期比増減	
売上高	31,513	34,836	3,323	10.5%
営業利益 (営業利益率)	△434 (△1.4%)	412 (1.2%)	846 (+2.6point)	—
経常利益 (経常利益率)	△461 (△1.5%)	378 (1.1%)	839 (+2.6point)	—
当期純利益	△409	345	754	—

2. 業績の推移

輸出環境悪化の中 売上は緩やかに回復

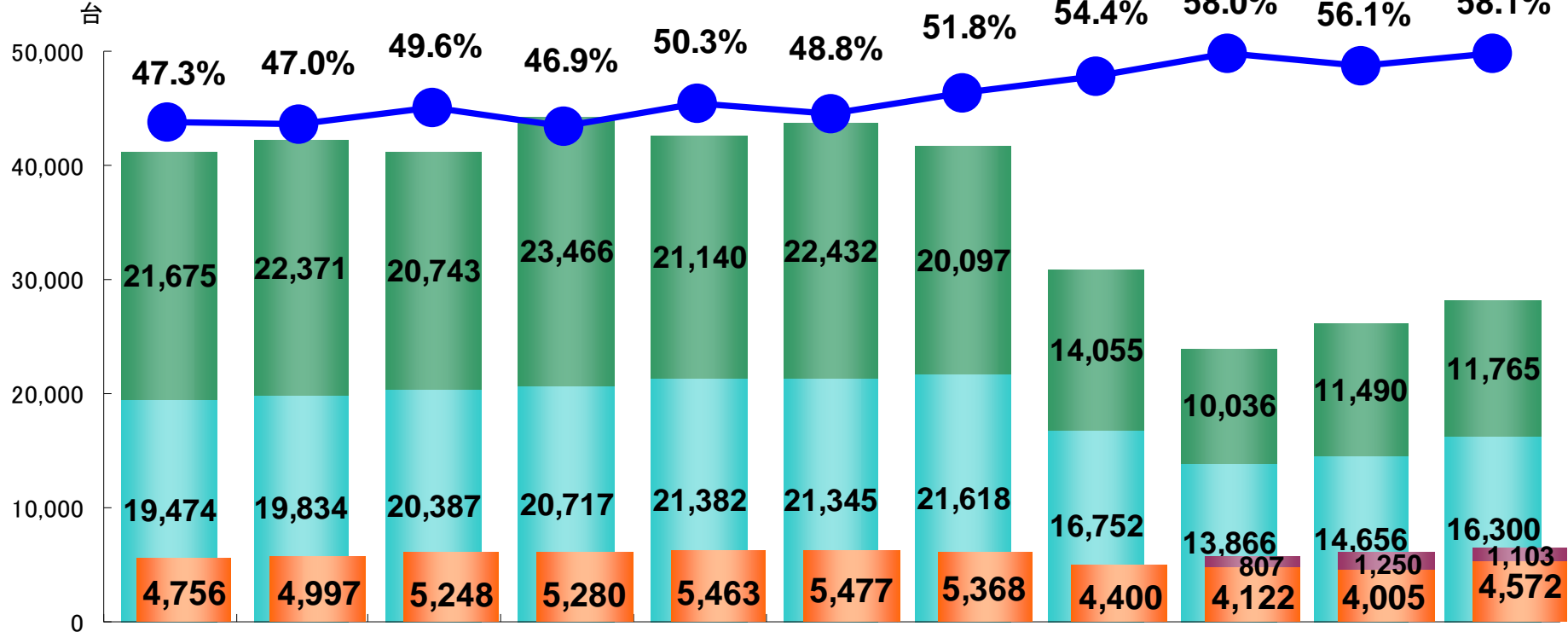


3. フォークリフト市場の動向



市場は緩やかに回復、バッテリー比率が更に上昇

【国内市場】



'05年度上期 '05年度下期 '06年度上期 '06年度下期 '07年度上期 '07年度下期 '08年度上期 '08年度下期 '09年度上期 '09年度下期 '10年度上期

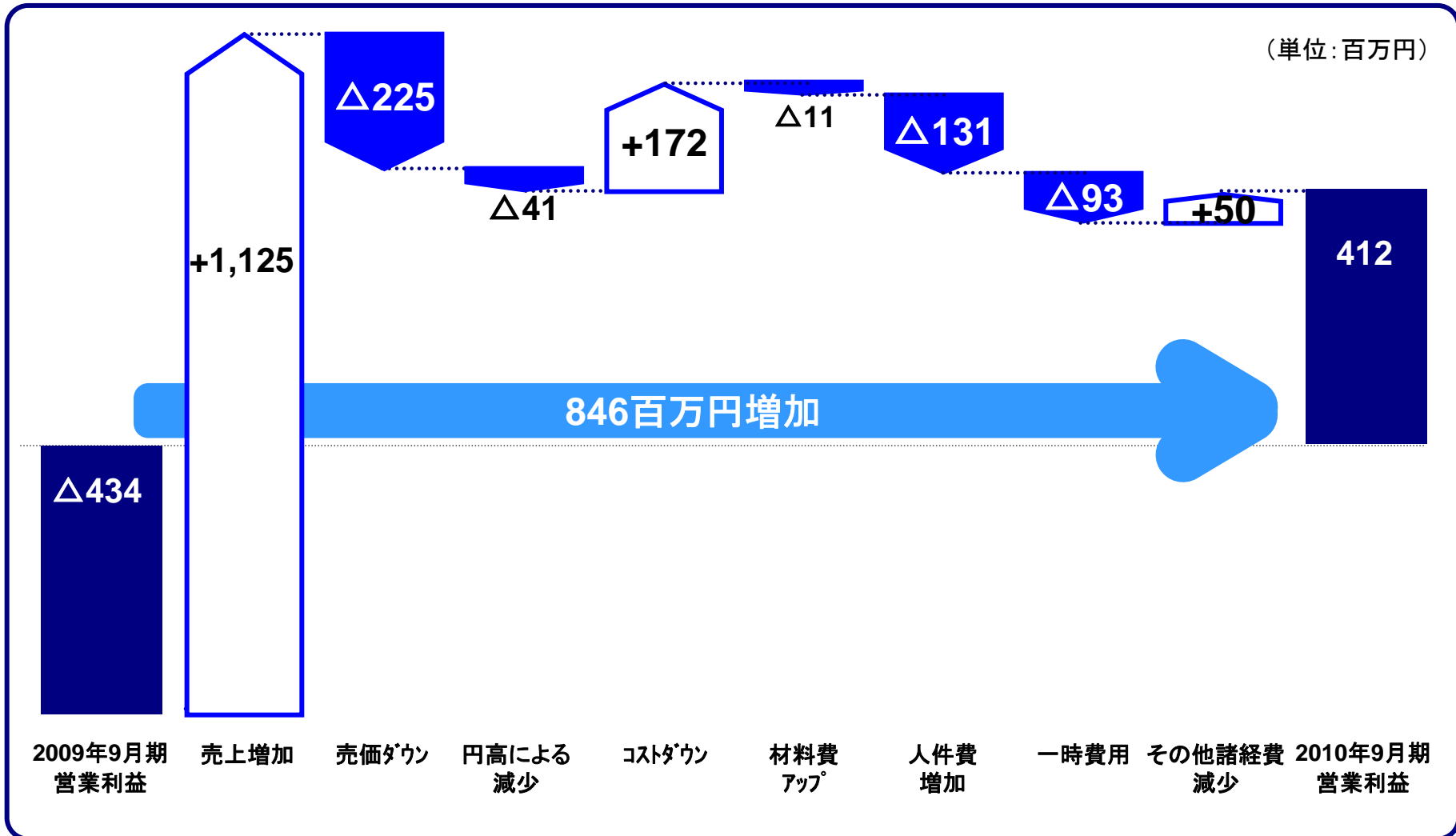
■ バッテリー車
 ■ エンジン車
 ■ 当社エンジン車販売台数
 ■ 当社バッテリー車販売台数
 ● バッテリー車比率(%)

(日本産業車両協会調べ)

4. 営業利益の増減要因

販売量の大幅増加とコスト低減効果により利益増

(単位:百万円)



5. 2011年3月期 通期業績見通し



今期 8月公表分から下方修正

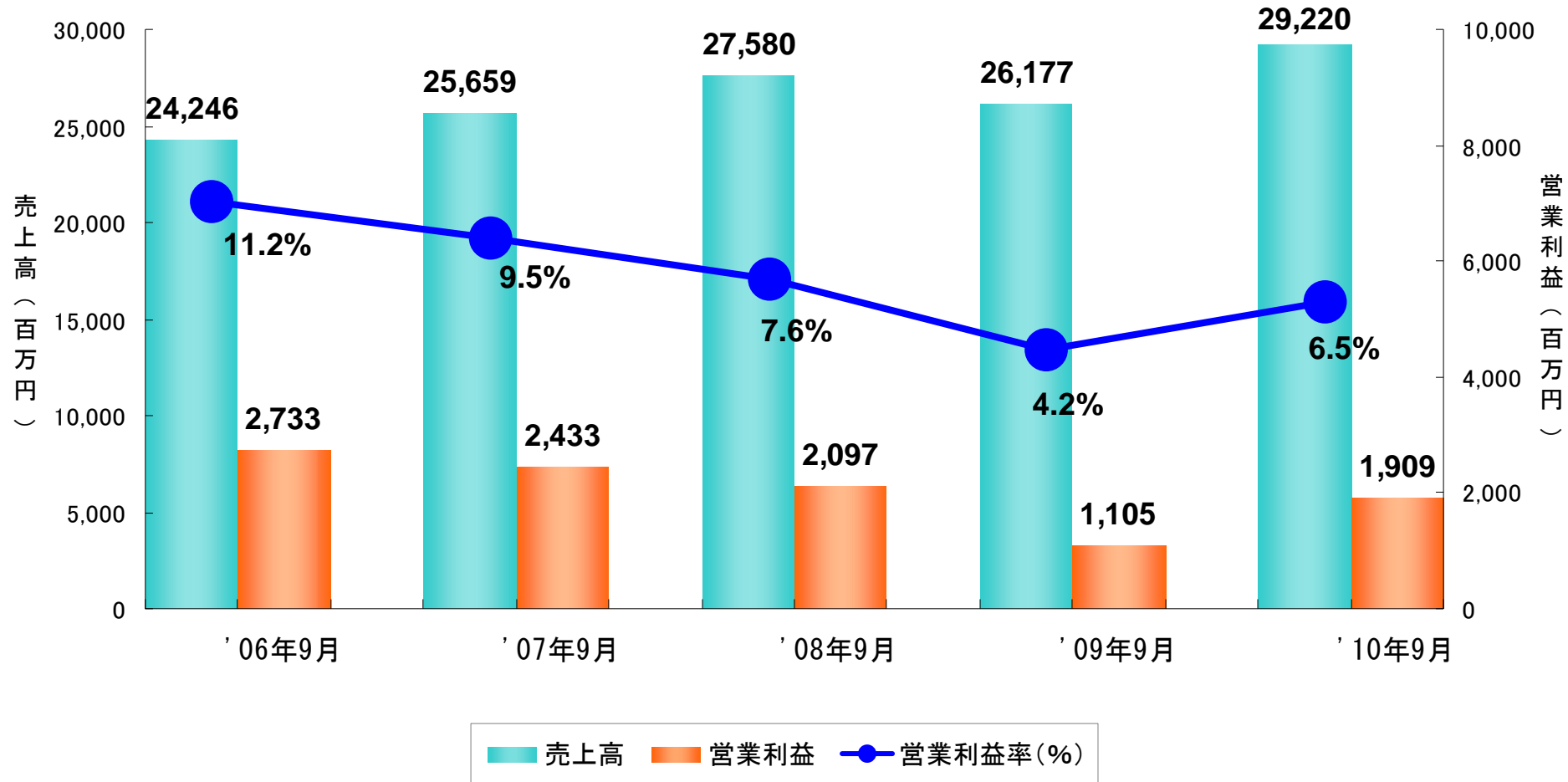
(単位:百万円)

	2010年3月期 実績	2011年3月期予想		前期比増減 (対11月公表分)
		8月公表分	11月公表分	
売上高	65,903	72,200	71,700	+5,797
国内フォークリフト事業	48,715	53,000	52,500	+3,785
海外事業	6,112	7,500	7,500	+1,388
物流システム事業	8,928	8,920	8,920	△8
その他事業	2,146	2,780	2,780	+634
営業利益	△3	1,290	1,100	+1,103
営業利益率	0.0%	1.8%	1.5%	+1.5point
経常利益	4	1,290	1,000	+996
経常利益率	0.0%	1.8%	1.4%	+1.4point
当期純利益	△805	700	600	+1,405
設備投資額	3,325	4,350	3,832	+507
減価償却費	3,164	3,300	3,280	+116

6. セグメント別業績（国内フォークリフト事業および海外事業）



国内需要回復等により増益

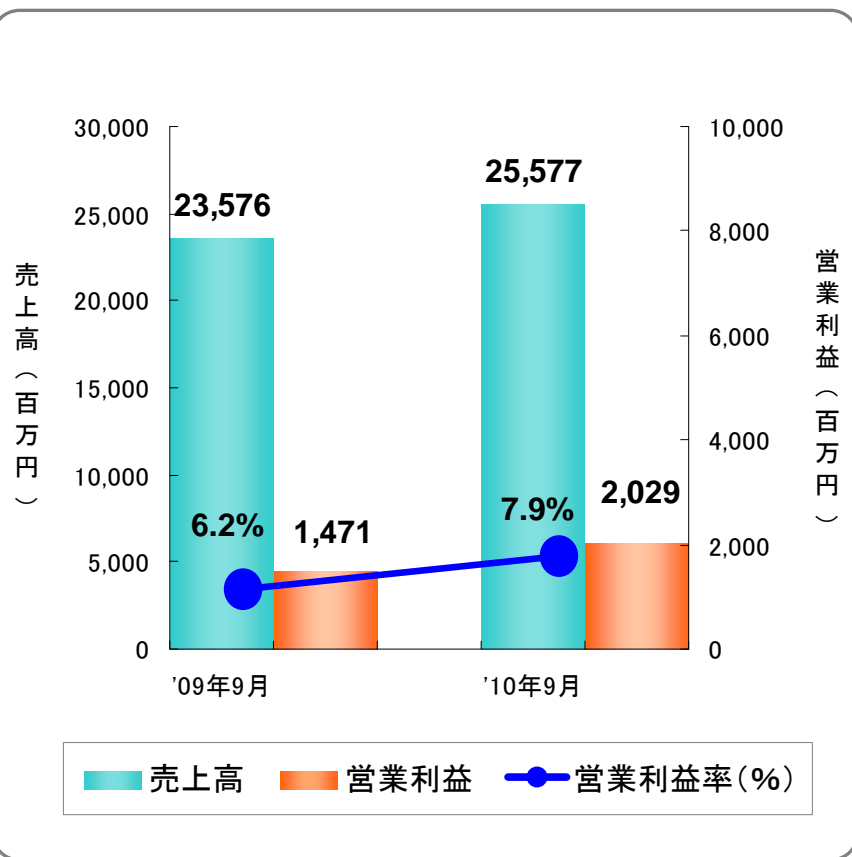


7. セグメント別業績 (国内フォークリフト事業および海外事業～新セグメント)

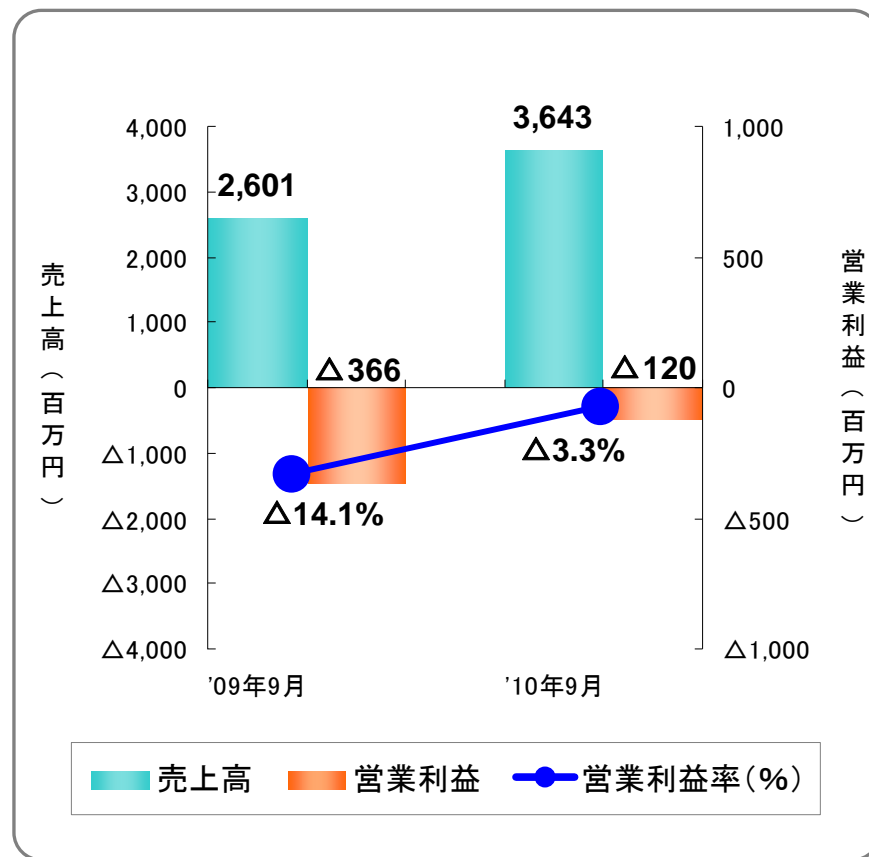


海外事業が拡大

国内フォークリフト事業



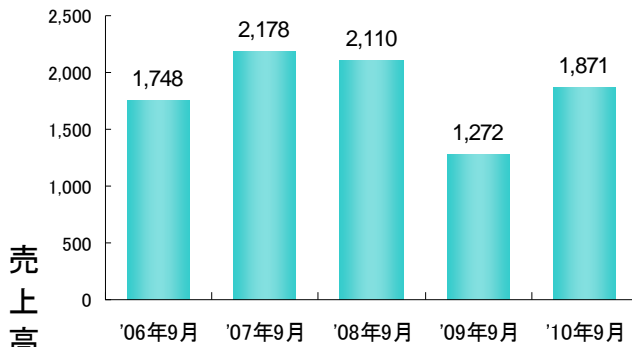
海外事業



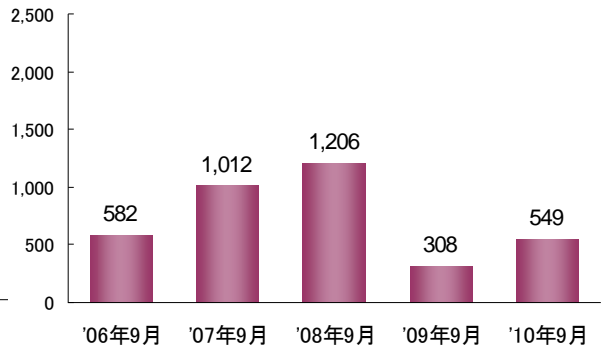
8. 海外地域別売上高の推移



中国・韓国・台湾



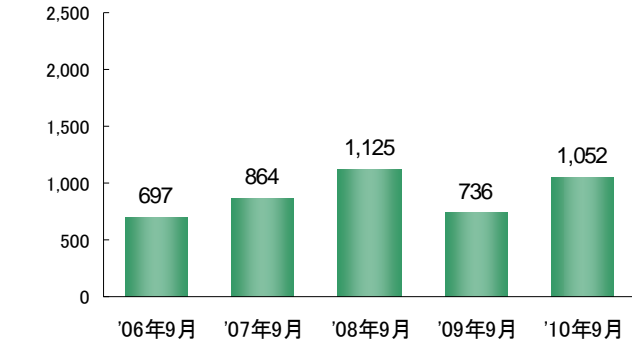
ヨーロッパ(含ロシア)



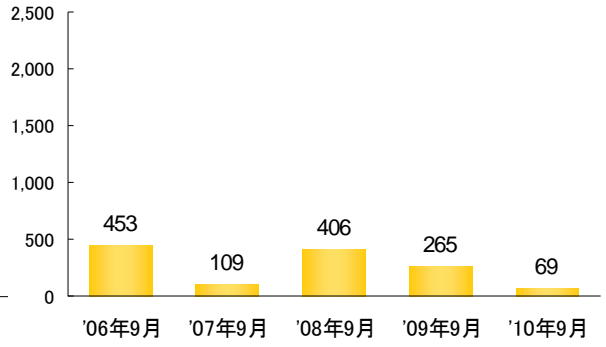
主要国での日本車内シェア

	'09年 1月~9月	'10年 1月~9月
中国	36.8%	39.7%
東南アジア	20.5%	26.6%
豪州	42.6%	11.0%

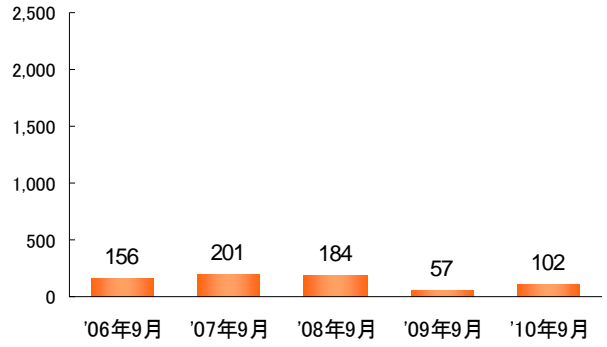
東南アジア



オセアニア



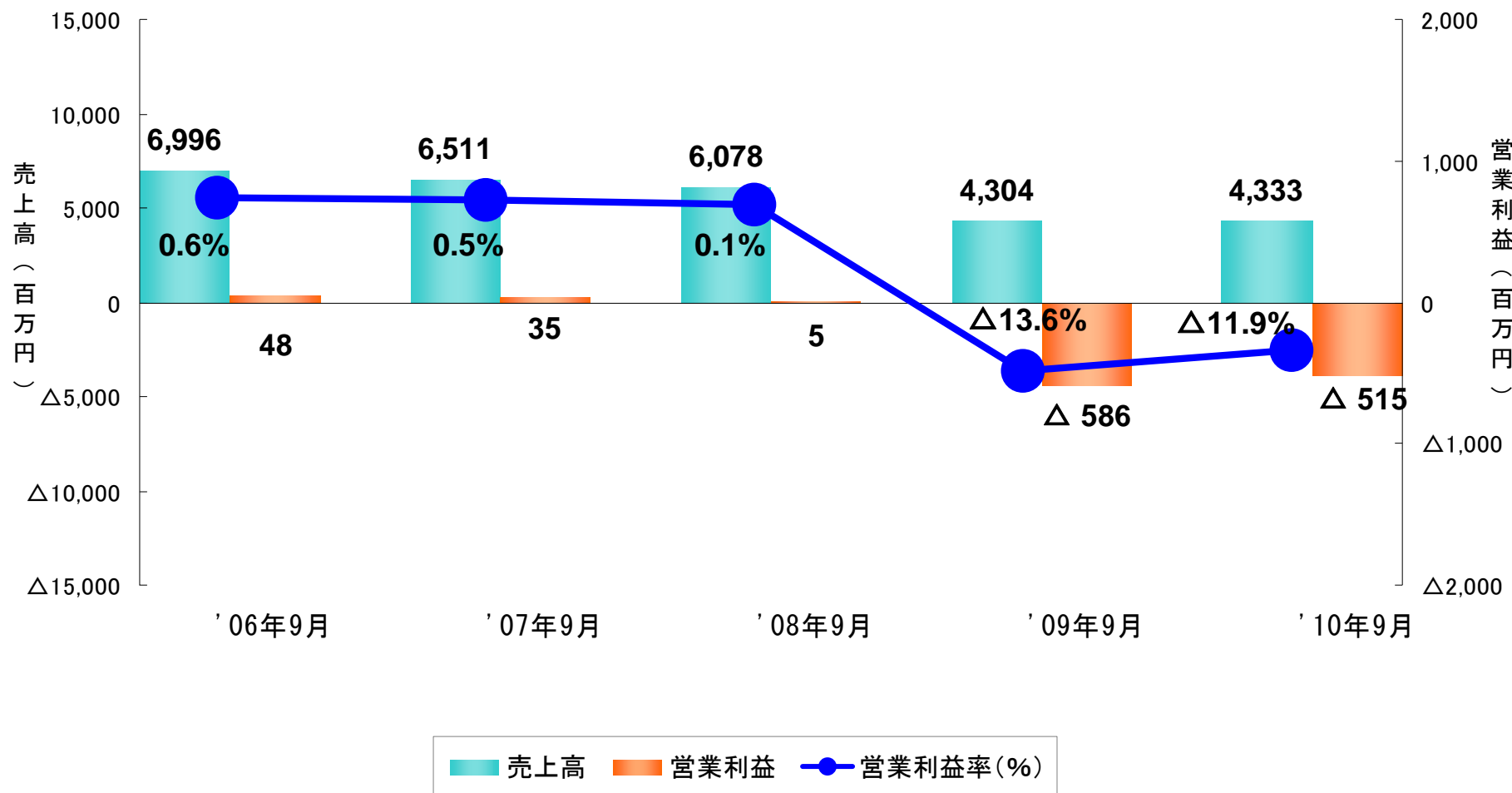
その他



9. セグメント別業績(物流システム事業)



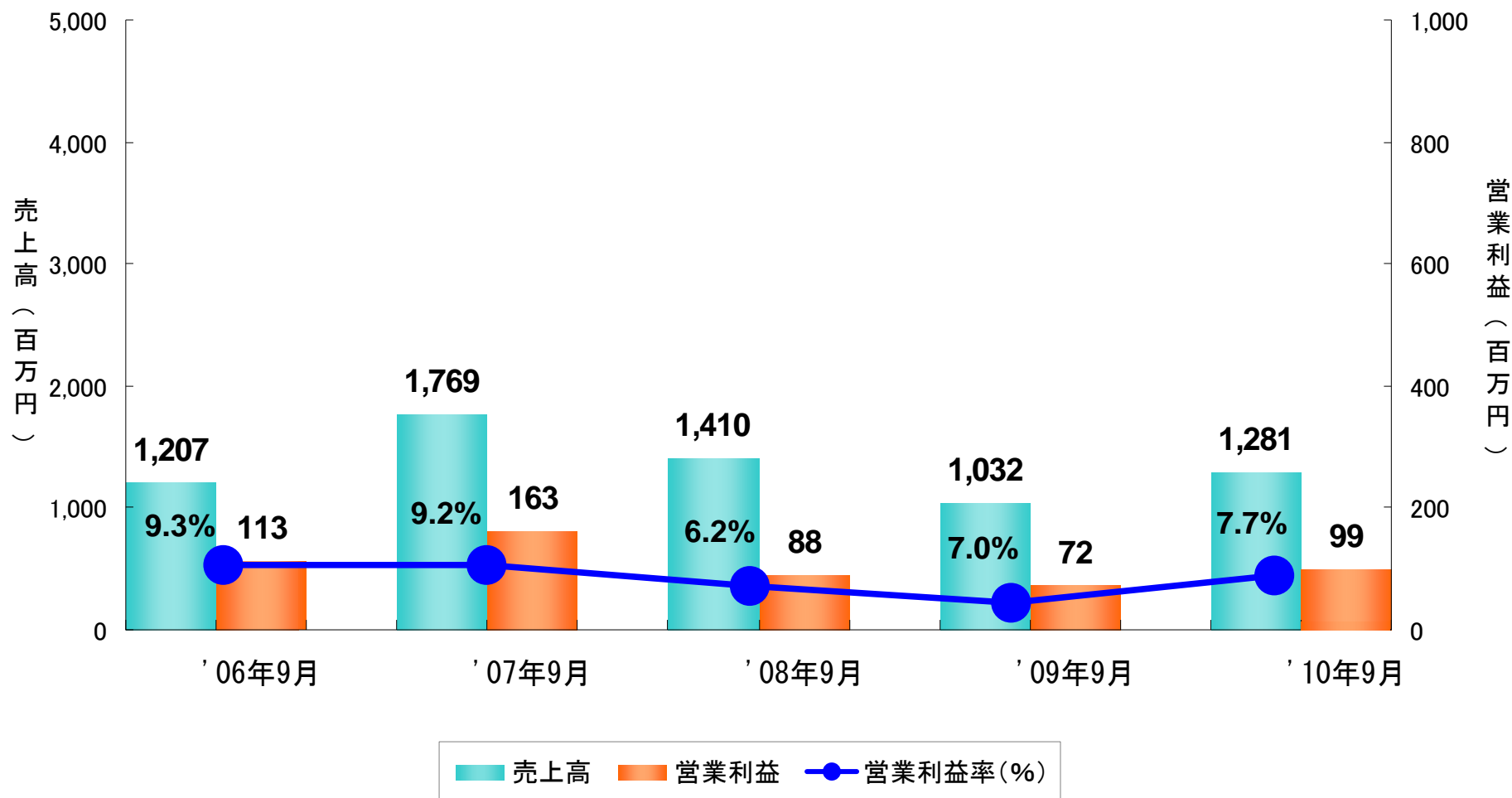
コスト削減をすすめ 競争激しい中緩やかに回復



10. セグメント別業績(その他事業)



巻取機の受注が好調に推移、増収・増益



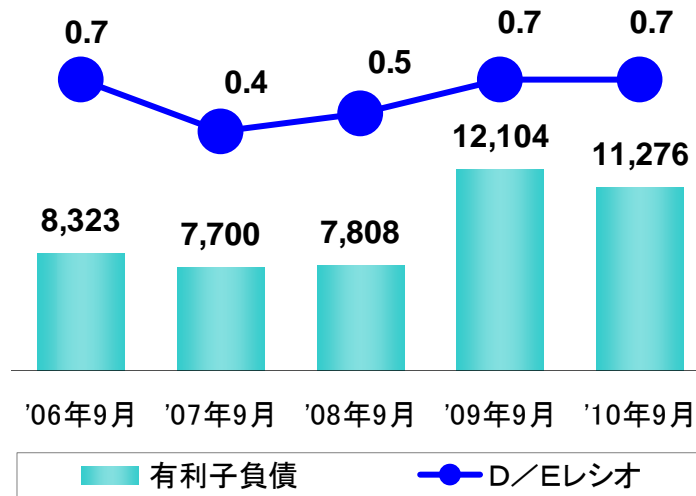
11. 有利子負債・自己資本



有価証券評価差額金の減少により自己資本比率低下

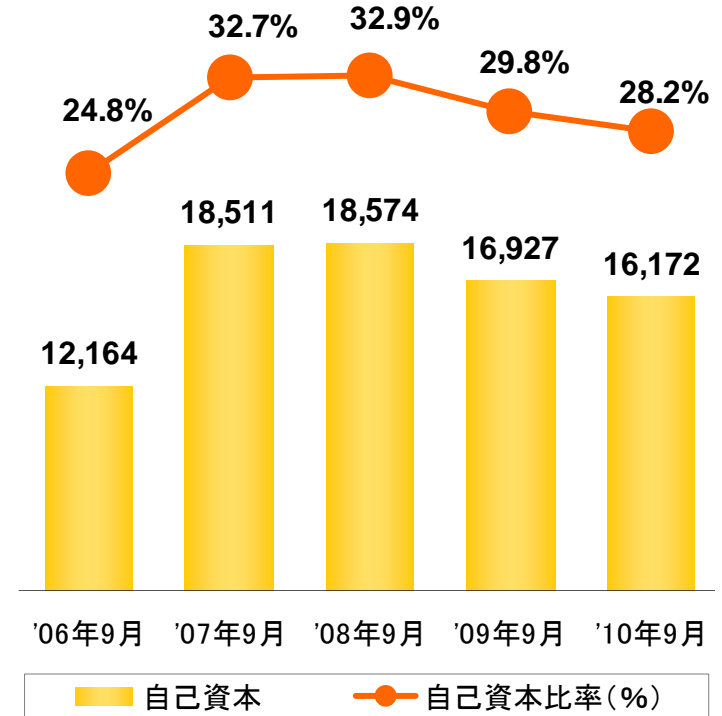
有利子負債・D/Eレシオ

(単位:百万円)



自己資本・自己資本比率

(単位:百万円)



12. 連結キャッシュ・フロー計算書の概要



新本館等の投資を実施

単位:百万円

	2009年9月期	2010年9月期	前年同期比増減
営業活動による キャッシュ・フロー	1,653	1,750	+97
投資活動による キャッシュ・フロー	△503	△1,882	△1,379
フリー キャッシュ・フロー	1,150	△132	△1,282
財務活動による キャッシュ・フロー	326	△350	△676

Ⅱ

当社の事業環境と今後の対応

取締役社長 裏辻 俊彦

1

中期経営計画：売上高1000億/営業利益率5%
を目標とした施策を軸に展開

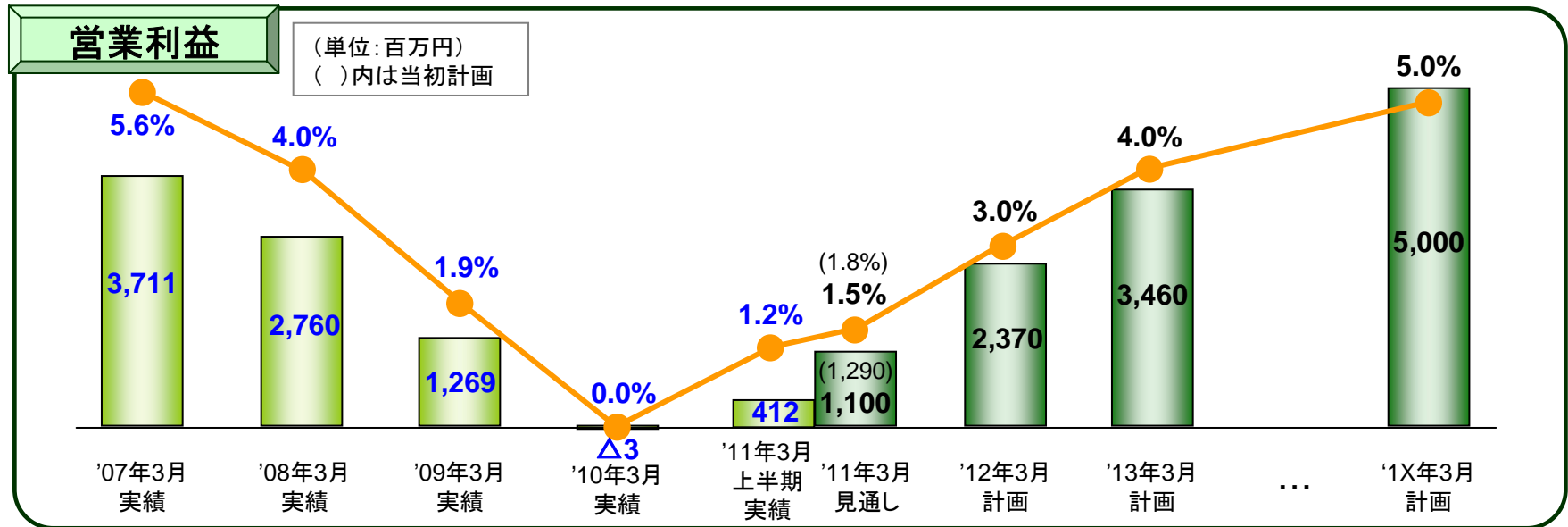
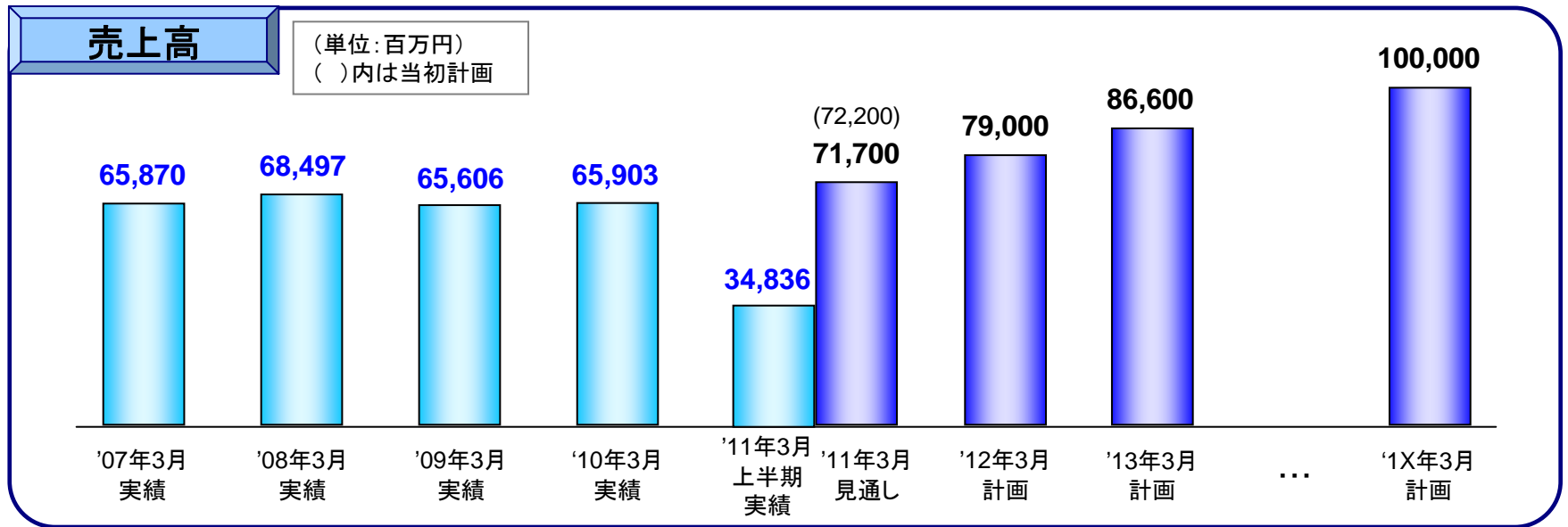
2

新興国市場のさらなる拡大と電気車比率の一層の
上昇が予想される一方で円高が進行

3

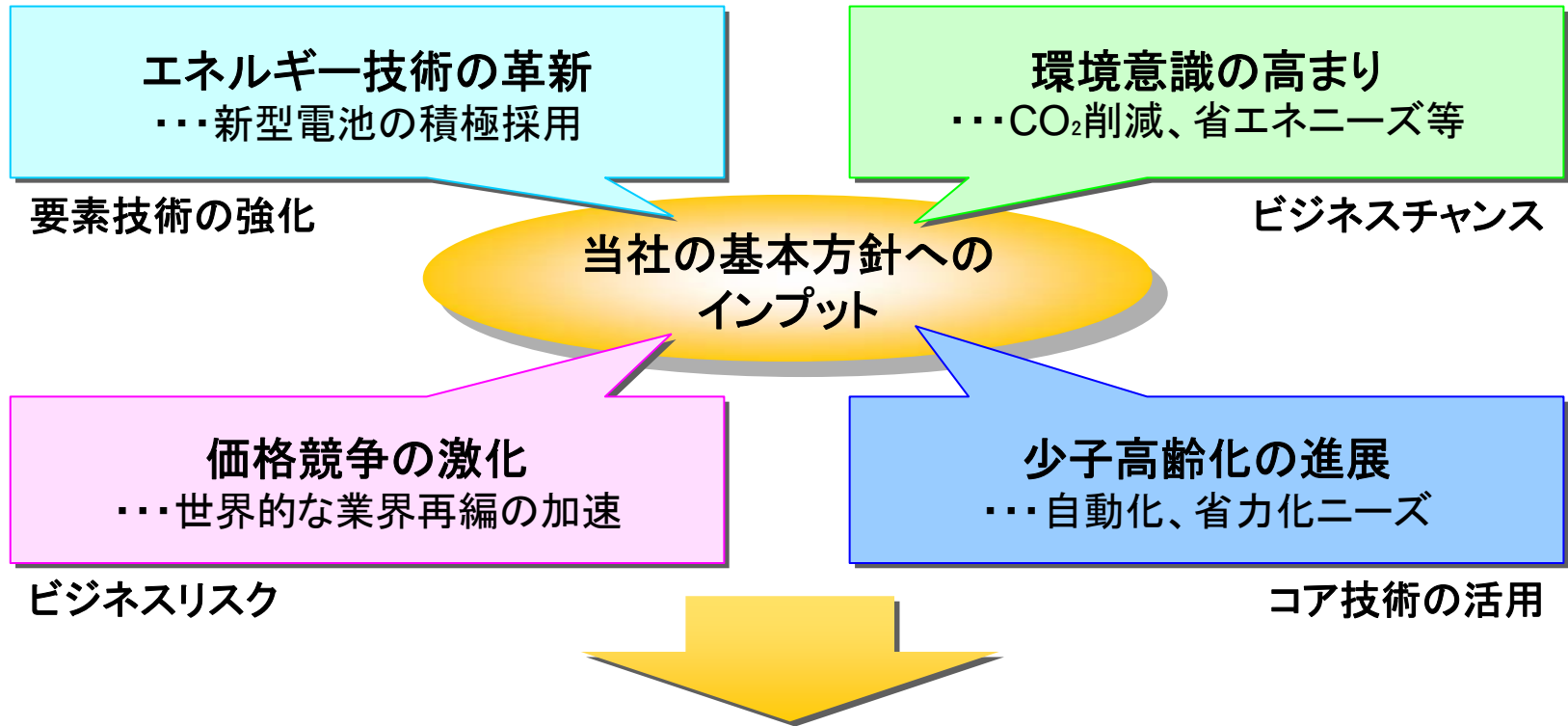
事業環境の変化に対応し、追加施策を実施

1. 数値目標(連結)と実績



2. 事業環境と基本方針

■ 中期経営計画策定時(2010年 6月 7日発表)



基本方針

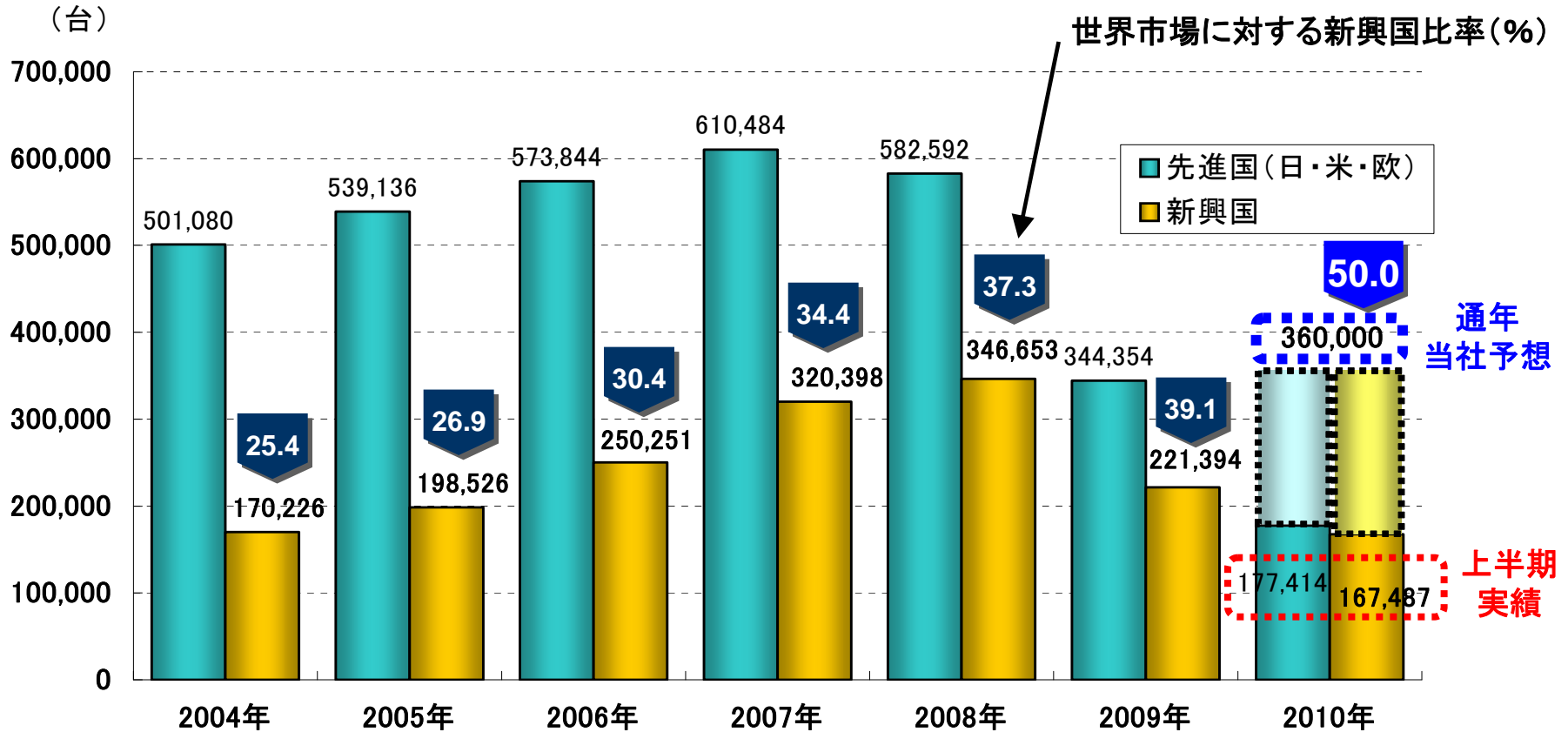
- 2011年3月期黒字化必達と収益基盤強化
- 海外シフト化の加速
- 国内販社統合効果の最大化
- 物流システム部門の黒字化

3. 新たな事業環境の変化と当社への影響

◆ その1 — 新興国市場の拡大

- 2010年上半期の新興国フォークリフト市場は先進国(日本、北米、西欧)市場に匹敵する規模に(2010年通年ではほぼ同数になるものと予想)

影響 当社の主要対象市場である、中国、アジア、CISを中心に需要が拡大



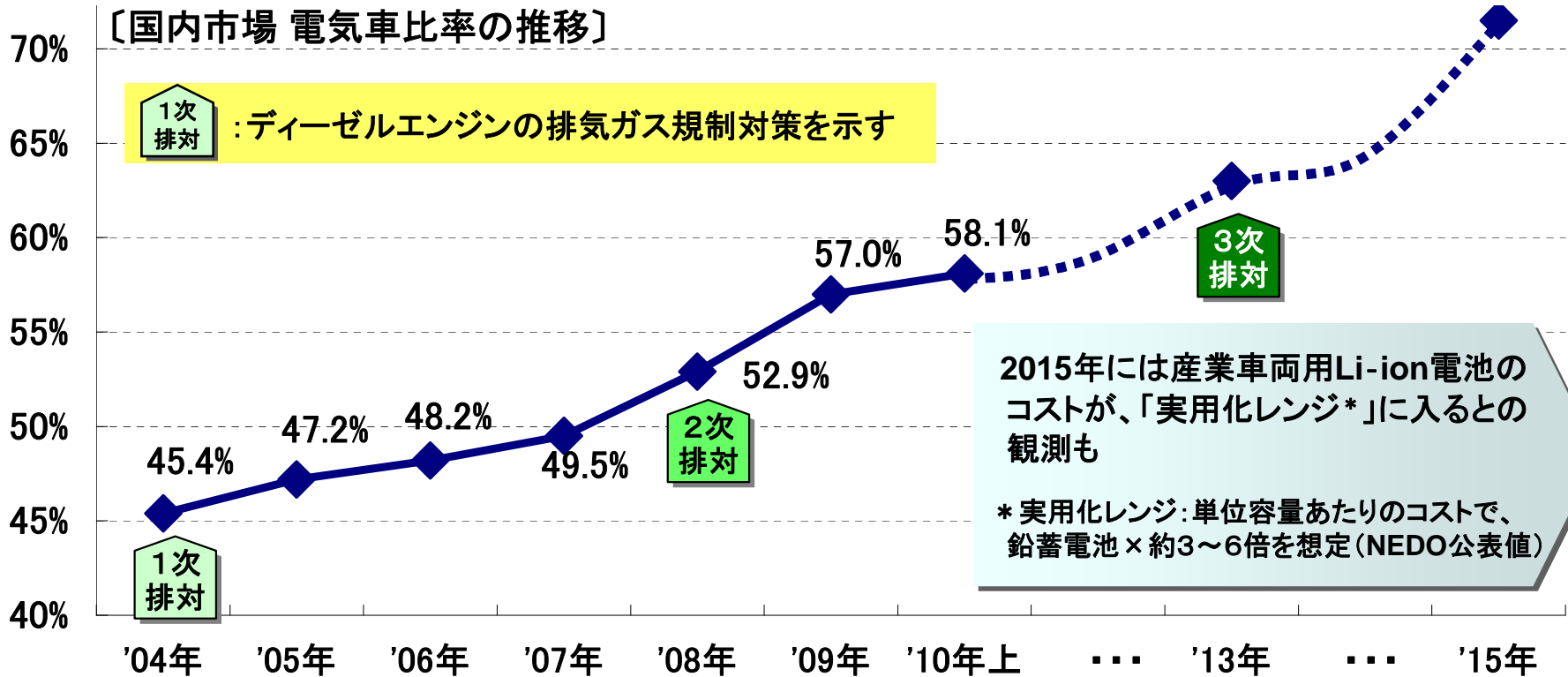
※数値は WITS (World Industrial Truck Statistics) 調べ 20

3. 新たな事業環境の変化と当社への影響

◆ その2 — 第3次排ガス規制／Li-ion電池の普及

- 第3次排出ガス規制対策によりディーゼル車のコストアップ(日・欧先行実施)
- リチウムイオン電池のコストが実用レンジに — 電気車の課題である充電時間・稼動時間などのデメリットが解消

影響 → 日本など先進国市場でエンジン車から電気車へのシフトがさらに進む可能性



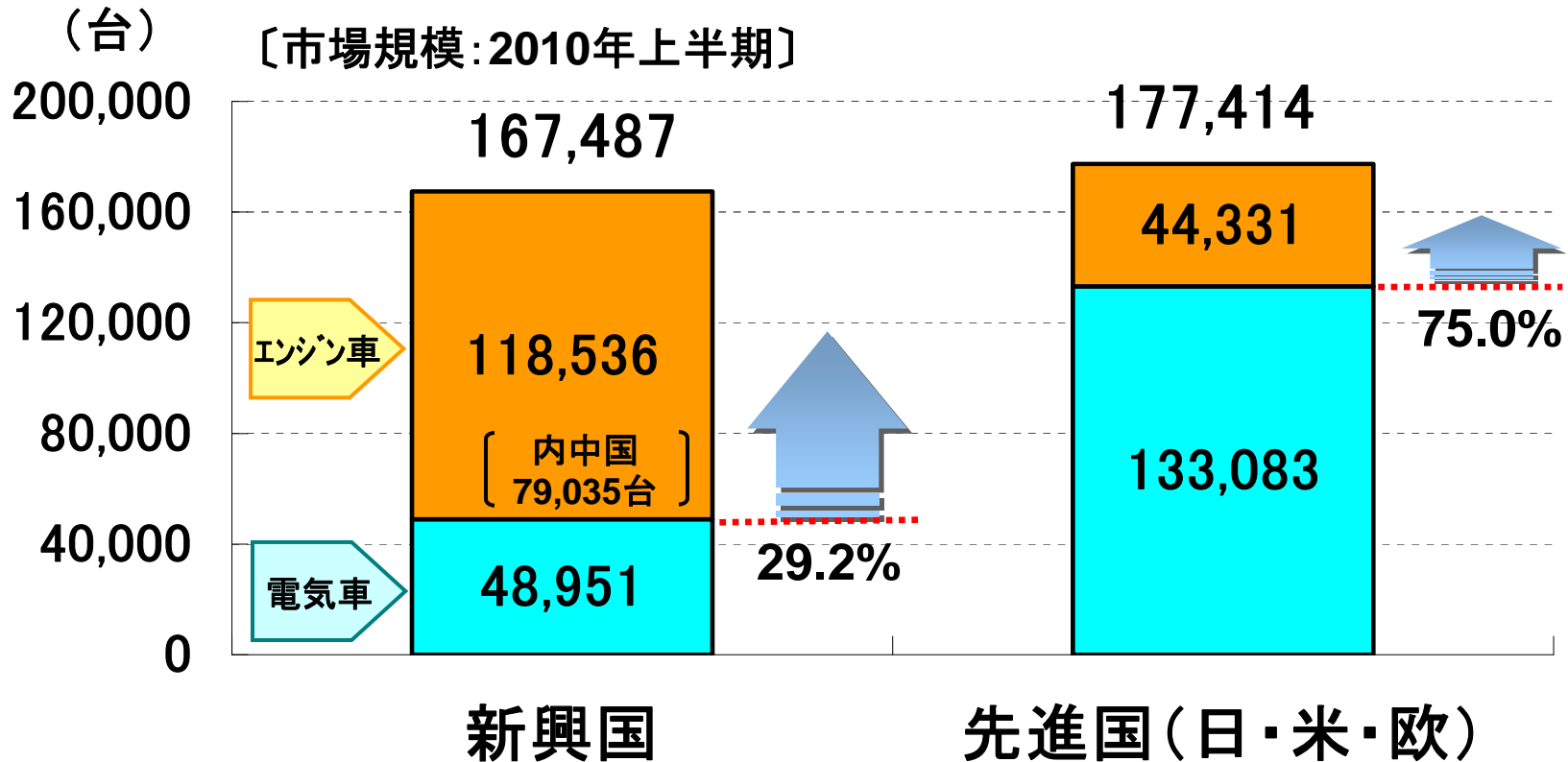
※2004年～2010年上期数値は(社)日本産業車両協会調べ

3. 新たな事業環境の変化と当社への影響

◆ その3 — 電気車比率の拡大

- 新興国では、環境意識の高まりとともに電気関連インフラ整備が進むものと予想
- 先進国では、排ガス対策が実施されるとともに、リチウムイオン電池関連技術が進展

影響▶ 新興国では電気車需要が急速に拡大し、先進国でもさらに電気車比率が上昇

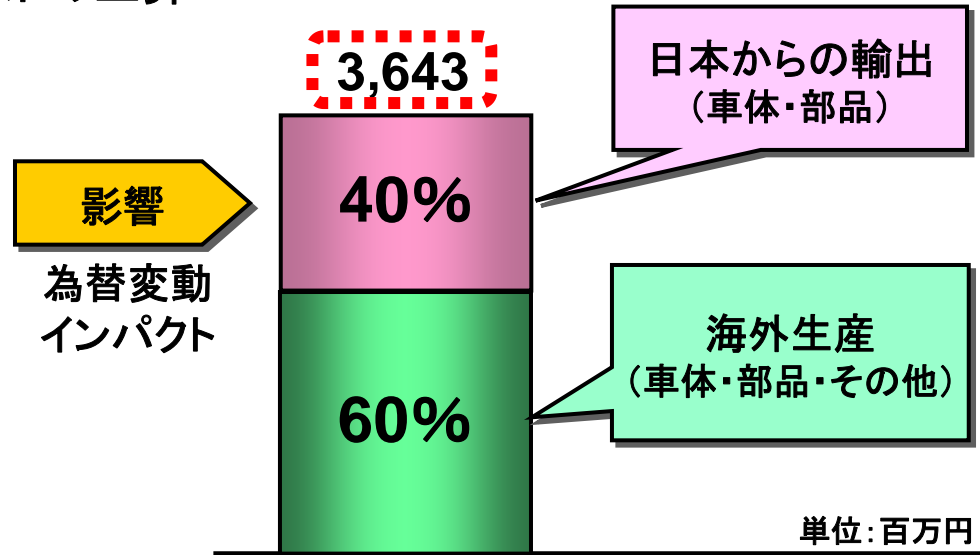
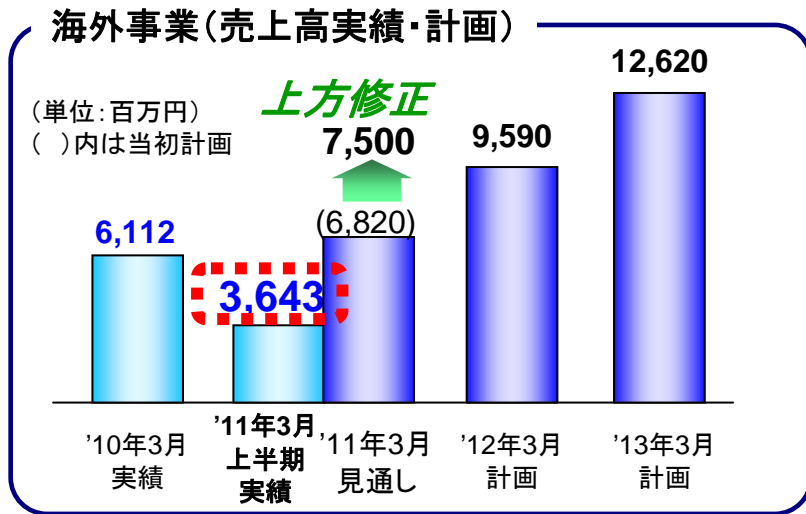


※数値は WITS (World Industrial Truck Statistics) 調べ

3. 新たな事業環境の変化と当社への影響

◆ その4 — 急速な円高の進行

- 海外向け国内生産車体の売上高減少、利益率悪化
- 海外生産拠点向け国内製部品コストの上昇



■ご参考 : NFS(上海工場)生産モデルと構成部品の現地調達率(2010年9月末現在)

70%

Photo: FB15P-72

64%

Photo: FBT15P-75

83%

Photo: FBR15-75

50%

Photo: FBRF20-75

今後の海外生産検討モデル

Photo: FB5P-50

Photo: PLD15-70

4. 新たな事業環境への対応

中期経営計画 基本方針を軸に追加施策を実施

1) 海外シフト化施策の追加実施

◆ 中国販売・サービス網の早期増強

- ・内陸部を中心*に販売代理店を設定 *：黒龍江省、甘肅省、安徽省、湖南省、海南省 など
- ・上海(2010年11月)に続き、さらに3拠点にサービスワークショップを増設

◆ NFS(上海工場)生産能力増強前倒しと生産モデル拡大

- ・能力増強設備投資を実施し、現行比+15%の生産能力を確保(2011年)
- ・さらに中長期的視点で生産モデル拡大と抜本的生産能力増強策を実施
- ・現地調達率アップと国内向け部品の海外調達拠点としての機能強化

◆ 中国以外の新興国対応

- ・円高に対応し、アジア・CIS向けUSD建 車体・部品価格を見直し
- ・リース・レンタル・中古車事業への取り組み強化、現地リース会社とのアライアンス実施
- ・人材を主とした国内リソース海外展開の加速

2) 先進技術開発のスピードアップ

◆ Li-ion電池搭載技術開発の加速

- ・モーター・コントローラー技術を核に、新規電装品の開発前倒しと早期実用化
- ・超急速充電器など関連インフラ技術の早期開発
- ・現行電気車ビジネスモデルの検証と分析

注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

お問い合わせ先

日本輸送機株式会社
総務課 松永、小泉

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1
TEL:075-951-7171 FAX:075-955-3797
<http://www.nichiyunet.co.jp>